

QSK にぬふあぶし

No.263

ね
子の方向の星（北極星）



つながる～イタリアの風を沖縄へ～



バザリア法が制定されて40年。NPO法人東京ソテリアの企画する「日伊合同精神保健フォーラム（5/12～20）」へ日本から36名が参加、そのうち13名が沖縄へ集結しました。そこで、「つながる」をテーマにイタリア・沖縄、沖縄の仲間達とつながるイベントを2日間にわたって開催しました。

第1部 11/16（金） 沖縄県体協スポーツ会館にて（参加者 約90名）

バザリア法40周年のイタリアで見てきた

イタリア視察メンバーらとの対話

“様々な角度からともに語るこれから”

報告会では塚本さやかさん（東京ソテリア）、安保寛明さん（山形県立保健医療大学）、宮崎伸一さん（中央大学法学部教授）、青木勉さん（総合病院国保旭中央病院）の4名がイタリアで見てきたこと、感じたことを報告してくれました。

塚本さやかさんは「東京ソテリアにおけるボローニャとの交流事業概要」についてのお話でした。

東京ソテリアでは普及啓発活動や、ピアサポート、都市交流事業等を積極的に実施しています。

イタリアへは数年間に渡り視察や交流を続けてきてボローニャと共同で都市交流ツアー、招聘事業、共同就労支援プロジェクト等を行っています。



この事業を通して解決したい課題として「医療主導型ではなく、地域の中で障害を持つ当事者があたりまえに暮らせる『当事者主体の社会』をつくること」とお話下さいました。

安保寛明さんは実際に見てきたイタリアの精神保健センターや病院、社会的共同組合のお話をしてくださり、日本に持ち帰れるものとして地域や立場をまたがって人と人がつながることに価値がある！ と締めくくって下さいました。

宮崎伸一さんはイタリアと日本の交流をマルコポーロの時代からさかのぼり、宗教的背景、時代的背景からバザーリア法はなぜ生まれたのか?を考察してくださいました。さらにオープンダイアログへと展開し、成果を紹介してくださいました。



青木勉さんは「つなぐ、つながる心のケア～旭モデルの経験から～」と題し、国保旭中央病院での①病院のシステムと多職

断を少なくする取組③訪問のシステム④重症者を支えるための旭市のグループホームとの連携⑤海匠健康保健センターとの連携と、実践をお話くださいました。

後半はその場で目があつた方と自己紹介。それをなるべく多くの方と知り合い、その場で6名グループを組んで今感じていることを自由に話し合いました。



第2部 11月17日(土)

ビーチパーティーin豊崎美らsunビーチ (参加者 約40名)

前日の大雨で、心配していた天気は回復。絶好のビーチパーティ日和になりました。2日間のイベントに参加して下さったスタッフの感想です

今回のイベントでは司会を務めさせていただきました。

あまりのへっほこぶりに、我ながら呆れてしまいましたが、これからはへっほこで売ろうと聞き直っています!

西平 千穂



今回、実行委員(うちなーde サルーテ共同組合)に協力くださった皆様のおかげでイベントは大成功でした。この出会いを大切に、さらに仲間が広がってきますように。

Chi trova un amico trova un Tesoro. (友との出会いは宝もの)

夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年

写真展 【入場無料】 12/17(月)-21(金)

豊見城市役所・1F ロビー 豊見城市翁長 854-1(098-850-0024)

初日は午後から開場 火曜以降は 09:00~17:00

「私宅監置の実態を知り、これからを考える」

写真パネルとともに監置小屋のレプリカも設置します。

映像上映、関連資料の展示も予定しています。

私宅監置制度

日本では1950年に廃止、
沖縄では1972年まで。
沖縄で撮影された写真と資料を公開します。
今のあなたに見て欲しい。
現実にあったことなのです。

上映会 & 写真展 & トークセッション

【資料代500円(各会場共通)】

藤井克徳氏

「夜明け前」《企画》、日本障害者協議会代表、
公益財団法人日本精神衛生会理事

今井友樹氏

「夜明け前」《監督》、工房ギャレット代表、記録
映画「鳥の道を越えて」で文化記録映画優秀賞

(トークセッション全日程登壇)

12/22(土) @那覇市

沖縄県立博物館・1F 講座室 那覇市おもろまち 3-1-1 (098-941-8200)

受付/14:30

上映/15:00~16:10

トークセッション/16:15~17:30

原 義和氏

《TVディレクター》フリーTVディレクター、
「消された精神障害者〜沖縄の私宅監置〜」で
貧困ジャーナリズム賞

橋本 明氏

《愛知県立大教授、調整中》愛知県立大学教育
福祉学部教授、書籍「精神病者と私宅監置」、
論文「帝国と精神医療」

12/23(日) @名護市

名桜大学 学生会館サクラウム3階大講義室A 名護市為又 1220-1 (0980-51-1100)

受付/14:30

上映/15:00~16:10

トークセッション/16:15~17:30

山田圭吾氏

公益社団法人
沖縄県精神保健福祉会連合会会長

※当日は現地で私宅小屋保存活動をされている方からもご報告いただく予定です。

12/24(月) @豊見城市

豊見城市社会福祉協議会 豊見城市平良 467-4 (098-856-2782)

受付/13:00

上映/13:30~16:10

トークセッション/14:45~16:15

新垣綾子氏

沖縄タイムス社会部記者「沖縄の精神障がい者の私宅監置問題」
キャンペーン報道で貧困ジャーナリズム賞

お問合せ 098-889-4011(沖縄県精神保健福祉会連合会)南風原町宮平 206-1

【主催】公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会/ゆいハート家族会(豊見城市精神療養者家族会)

【共催】沖縄県精神保健・医療・福祉連絡協議会

【協力】沖縄自主上映会促進ネットワーク

【後援】沖縄県/沖縄県市長会/沖縄県町村会

『宜野湾市地域活動支援センター はぴわん』



笑顔が素敵な なかむら・なつみさん♪

コンサートの様子

「秋でもやります なつみのコンサート」を11月20日(火)の朝9時から
はぴわん相談室にて、入場料100円(フリードリンク付き)で開催いたしました。

☆曲のプログラム☆

- ① 日曜日よりの使者
 - ② STAND BY ME
 - ③ さくら
 - ④ 君は僕の安定剤 (オリジナル)
 - ⑤ おたがいさま (オリジナル)
 - ⑥ ひとりじゃないよ (オリジナル)
- シャンゼリゼ (勝手にアンコール)

今日も
元気に病氣中!



☆なかむら なつみさんからのメッセージ☆

こころの病気をわかるとか、わからないとかいう感情は相手にまかせます。
受け入れてほしいとか、理解して、ではなくて、ただ、こんなわたしがいることを
知ってほしいのです。

こころの病気になったからこそ、出会えた人達がたくさんいます。

いろんな人達の支えで、わたしが成り立っていること、いろんな人達の支えで、
あなたが成り立っていること、それは、たぶん、事実です。 byなかむら なつみ

◎編集後記◎

もう12月、師走ですね～!
とはいうものの、まだまだ、沖
縄の日中は暑いですが、1年も
あつという間で驚きです!!

さて、今年の目標は達成しま
したか?まだの方、まだ約1ヶ
月ありますので、今からでも遅
くないですよ♪レッツトライ♪
(ナ)

編集：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾
〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内
電話 098-889-4011 FAX098-888-5655
E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp
発行：九州障害者定期刊行物協会
〒812-0024 福岡市博多区綱場町 1-17
福岡パーキングビル 4 階
電話 092-753-9722 FAX092-753-9723
定価：100円(会費に含まれる)

書籍出版紹介

『**消された精神障害者**』（四六版・224頁、本体1,500円＋消費税）

「私宅監置」の闇を照らす犠牲者の眼差し

原 義和：編著 高橋年男：解説 高文研 2018年12月下旬発売

このたび標記の書籍を出版する運びとなりました。

今年4月の沖縄県立博物館・美術館と7月の石垣市民会館で開催した写真展・シンポジウムやアンケートにおいても、記憶の継承が課題となり、書籍出版に取り組むことになりました。12月下旬に開催いたします『夜明け前』上映とトーク企画へのご参観とあわせて、会場にて書籍を紹介できるように、諸般調整をいたしております。

なお、書籍購入をご希望の方は、下記に申しただけると、本体価格のみ（消費税と郵便送料はかかりません）、ご利用いただければ幸いです。

記

申込連絡先 沖縄県精神保健福祉会連合会（事務局：高橋）

〒901-1104 南風原町宮平 206-1 電話：098-889-4011 FAX：888-5655

※ 書籍の送付先（住所、宛名、電話番号）と購入部数を明記して、お申込み下さい。